

# 100-210

## 問題文

74歳女性。大腸がんを原発とし転移性肺がんとなった。病棟薬剤師1名が常駐する緩和ケア病棟に入院となり、下記の薬剤が処方された。

(処方)

モルヒネ硫酸塩徐放錠 60 mg (12 時間持続)	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)
	1 日 2 回 朝夕食後 7 日分
酸化マグネシウム	1 回 0.5 g (1 日 1.5 g)
	1 日 3 回 毎食後 7 日分

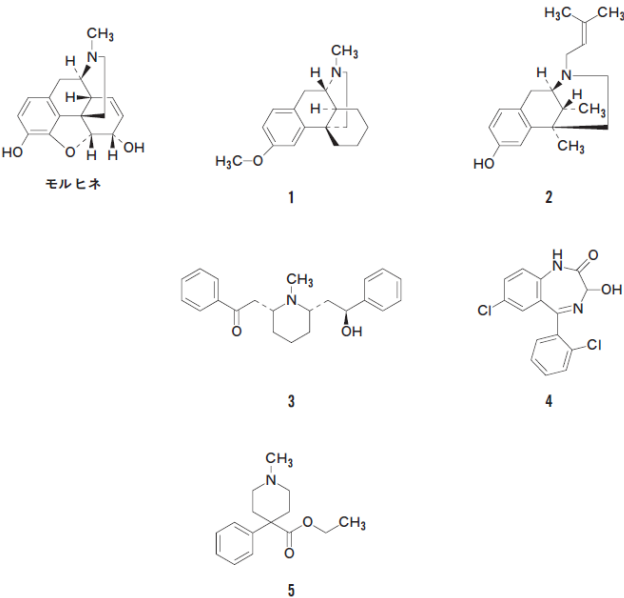
## 問210

服用3日後、この患者は亡くなり、病棟から上記の薬剤が担当薬剤師に返却となった。担当薬剤師の麻薬の廃棄への対応として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 返却された麻薬は、麻薬帳簿または廃棄簿に返却数を記載した。
2. 担当薬剤師は返却された麻薬を回収が困難な方法で、1人で廃棄した。
3. 調剤済みの麻薬であったので、廃棄後、廃棄届を提出しなかった。
4. 廃棄後、麻薬帳簿または廃棄簿に廃棄したことを記載した。

## 問211

モルヒネの構造をもとに開発された鎮痛薬はどれか。2つ選べ。



この問題は、正答となる選択肢が一つしかないため「解なし」となった問題です。

## 解答

問210：1, 4問211：解なし

## 解説

### 問210

選択肢 1 は、正しい記述です。

選択肢 2,3 ですが

返却された麻薬は、管理薬剤師が他の職員の立会いの下に廃棄し、廃棄後30日以内に「調剤済麻薬 廃棄届」を保健所に提出します。従って1人で廃棄しては、いけません。また、調剤済みで返却された場合であっても廃棄届 の提出が必要です。よって、選択肢 2,3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。

以上より、正解は 1,4 です。

### 問211

解なしのため、解説もなし。